

大阪城ライトアップ

世界自閉症啓発デー ブルーに染まる

世界自閉症啓発デー「やし」や「希望」を表現する青色にライトアップされた。行政と関連団間でシンポジウムも開



大阪府庁の正庁の間から望む青色の大阪城天守閣。2日午後、大阪市中央区

き、来場者は自閉症を含む発達障害への理解を深めた。

世界自閉症啓発デーは国連が定め、毎年世界各地で名所のライトアップなどが繰り広げられている。日本では厚生労働省が2～8日を発達障害啓発週間と定め、関係団体とイベントを開いている。

大阪では府が2013年度、発達障害がある子どもから大人までを総合的に支援する事業に着手。策定した支援計画には障害の啓発

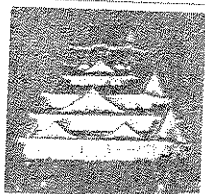
推進を盛り込んでおり、府と大阪市、大阪自閉症協会が今回のイベントを初めて企画した。

シンポジウムで、大阪大学大学院の永井利三郎教授（小児神経学）は、「コミュニケーションなどが苦手な発達障害の要因について「育ち方の問題ではなく脳機能の特性」と説明。人によって苦手な部分の程度が違いため、ほめて育てる工夫などを一人一人の状態に合わせて対応する大切さを訴えた。当事者の保護者は「家族や周りの理解を得て環境を整えれば子どもたちは頑張れる」と呼び掛けた。

れる大阪城を正庁の間から見学。共生への願いが込められた「希望」の光に見入り、写真撮影していた。

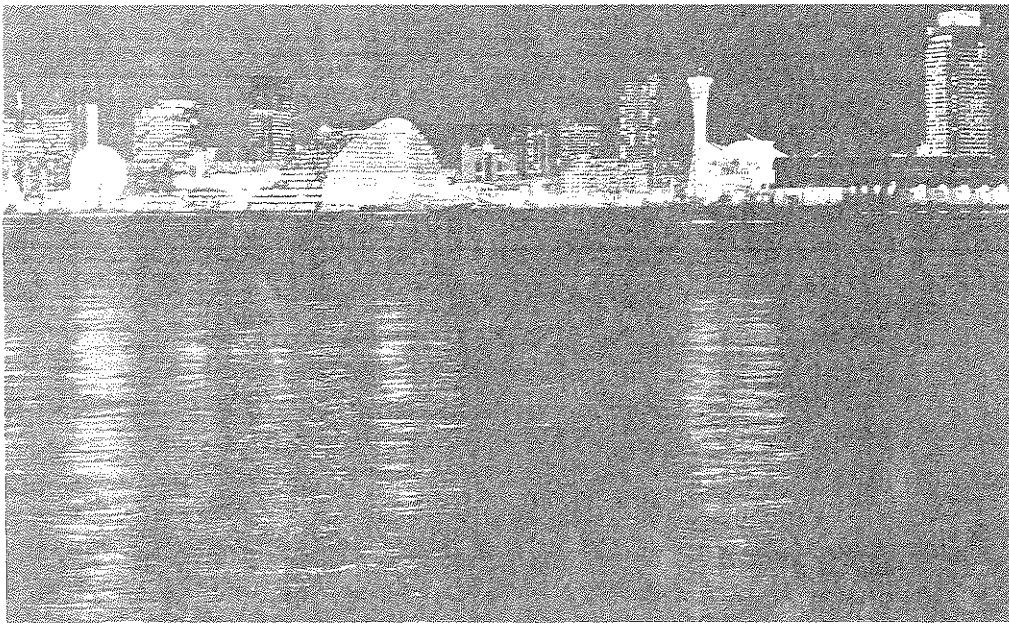
26.4.3 (木) 大阪日日新聞 (朝)

大阪城が癒やしの色に 20



大阪城天守閣が「癒やし」「希望」を表現する青色にライトアップ。世界自閉症啓発デーで自治体と民間団体が初の試み。

26.4.3 (木) 大阪日日新聞 (朝)



世界自閉症デーの啓発のため青くライトアップされた神戸湾。ポートタワーなどの施設が海面を青く染めた。2日午後6時56分、神戸市中央区（瀬光和弘撮影）

青の灯 町にやさしさ

自閉症など発達障害への理解を訴える「世界自閉症啓発デー」にあたる2日、神戸市中央区の神戸ポートタワーをはじめ国内各地の約80カ所が青色にライトアップされた。

日本を皮切りに100カ国以上で開催。イベントを支援したNPO法人、あっと

オーティズム（兵庫県芦屋市）は「日本は自閉症への対応が遅れている。サポート体制を充実させてほしい」としている。

関西では京都タワー（京都市）や大阪城（大阪市）もライトアップされた。大阪城では、青白く浮かび上がった天守閣と夜桜のコラボレーションに、花見客から「すごくきれい」と歓声が上がった。

26.4.3(木) 産経新聞(朝)

2日、自閉症を含む発達障害への理解を促めようと、大阪・通天閣が青色にライトアップ

産経新聞



◇国連が定めた「世界自閉症啓発デー」の2日、自閉症を含む発達障害への理解を促めようと、大阪・通天閣が青色にライトアップ

【岡村素】

26.4.3(木) 毎日新聞(朝)

◎：自閉症など発達障害への理解を訴える「世界自閉症啓発デー」の2日、東京タワー（東京都）、京都タワー（京都市）、ポートタワー（兵庫県芦屋市）は「日本は自閉症への対応が遅れているのでサポート体制を充実させてほしい」としている。



◎：日本を皮切りに100カ国以上で開催される。東京タワーでの点灯式には田村

26.4.3(木) 日経新聞(朝)

された写真、幾島健太郎撮影。

◇2008年以降、東京タワーなど国内外の名所で実施されており、通天閣では3回目となる。この日の前後には、シンボウムなどさまざまな取り組みも展開されている。

◇通天閣は通常、LED（発光ダイオード）

約2万球でピンクや黄色などにライトアップされている。この日は夕方から癒やしや希望を表す青色に染められ、障害への思いやりを託された光が夜空を彩った。